

	<p>始まっていて、もういちばんの目玉が、子育て支援、少子化対策ということで、これはまさに我々の教育委員会の大きなテーマにも関わってくるところであります。</p> <p>後でまた、事務局の方からも諸報告ありますが、大きな目標、大きな計画という話が今日出てきますので、そのへんも含めて、これからの河南町の教育について、しっかりと議論していきたいなと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。</p> <p>それでは、令和5年1月の教育委員会定例会を開催します。</p> <p>まず初めに、本日の定例会につきまして、傍聴の申し出はございません。</p> <p>次に、本日の出席者は4名です。定足数を満たしていますことをご報告いたします。</p> <p>次に、会議録署名委員は、河南町教育委員会会議規則第17条の規定により、杉田委員に決定してよろしいでしょうか。</p>
委員全員	<p>———異議なしの声あり———</p>
教育長	<p>ご異議ないようですので、会議録署名委員は杉田委員に決定いたしました。</p> <p>それでは、議事を進めさせていただきますが、先ほど申しましたように本日は議案がありません。</p> <p>第2. 諸報告、その他について進めさせていただきます。</p> <p>「(1) 令和5年度予算要求予定主要事業について」事務局から説明を求めます。</p>
事務局	<p>「(1) 令和5年度予算要求予定主要事業について」</p> <p>資料に基づき説明</p>
教育長	<p>この件について何かご質問等ございますか。</p>
委員	<p>資料1の教育課のスクールソーシャルワーカー活動事業の内容のところで、1点だけ気づいたことを指摘したいと思います。</p> <p>児童・生徒が置かれた環境問題（家庭・友人関係等）への働きかけと関係機関等との連携及び調整というふうに、事業の概要として書かれていますが、この環境問題（家庭・友人関係等）のところにこだわりたいと思います。</p> <p>この児童・生徒の置かれている環境問題というのは、今、私がいちばん強く思うのは、各家庭の保護者の経済状態が子どもたちの学習、それから、教育の格差を生んでいるというのは事実だと思うのですよ。</p> <p>その中で、行政は、その問題を解決しようといろんなことに取り組んでいますが、その中の一つがスクールソーシャルワーカーだと思います。そのほかに、教育費を負担するために、無利子の奨学金。保護者の就労支援を行うことで、貧困状態にある子どもたちに教育の機会が得られるように支援策を実施している市町村もある。大阪市では、経済的理由から習い事や塾へ通えない子</p>

	<p>どもたちへ、教育関連事業所で利用できる利用券を発行したり、塾、塾代の助成事業として、中学生を対象に塾代助成カードを発行しているのですが、河南町については、こういう支援策、財政的な支援策というのは見えない部分があるので教えていただきたいと思います。</p> <p>事務局 基本的には義務教育は授業料無料です。教科書も無償化になっております。これは法律で無償化になっています。それ以外の副教材とか、いろいろ諸々そういったものに必要ところが、保護者負担になります。ここは就学援助費というかたちで、毎年申請をいただいて、援助をさせていただいております。</p> <p>併せまして、給食費は給食の設置者の方が援助するというかたちになっておりますので、そういった意味でいきますと、表向きの事業として挙げさせていただいております。</p> <p>それ以外の義務教育以外のところで、一体どこまで公費を使って、そこへ援助していくかというのは、内部の議論が必要だと思います。</p> <p>中には、塾代出してほしいとありますが、基本的には河南町教育委員会は、特に教育課の方は、義務教育を預かっている関係になりますので、その義務教育の中で、本来は学校の教育活動の中で、子どもたちにどういった教育が必要なのか、何が必要かというところがもっと重要なかと、原課としては考えております。</p> <p>確かに、市によっては塾代援助もありますけども、本来は学校の中での教育、先ほどの研修でもありましたけども、何が重要なかというところでやっていく方がいいのかなと、原課としては考えております。</p>
委員	<p>一つの問題は、家庭の家計が支出する教育費の負担という問題は大切なことであって、家庭が支出される学校外教育の70%、家計から出て70%が塾とか、学習指導セミナーの授業料に支出されるというデータが出ているみたいです。</p> <p>だから、その差が、行政が支援できるかできないというのは、やはり子どもたちの将来の大学に進学することも含めて、大きな差が出てくるんじゃないかと思います。</p> <p>だから、今、事務局の方がおっしゃったように、単純な問題ではないので、今後ますます審議しながら、できたら河南町の中でもそういう支援策を考えていただければありがたいなと思います。</p>
事務局	<p>教育に差があってはいけないだと思いますので、こういったご意見については、国・府に対してそういったところの要望はしていきたいと思います。</p>
委員	<p>ありがとうございました。</p>
教育長	<p>今、ご意見いただきましたので、他の委員の方も、今、委員が出された中身</p>

	<p>について、何か、ご意見があれば、せっかく出しているののでどうでしょうか。</p> <p>一定、事務局の方からも、現状についてはお答えさせていただきましたけど、我々、この委員の中で、そういう貧困対策がこれから出てくるとは思いますし、挙げていただいたスクールソーシャルワーカー活動事業という、これは貧困対策ということではなくて、今ここにざっと内容として書かれている部分で、様々な状況をもっている子どもたちが増えてきていますので。</p> <p>それを教員、あるいは、スクールカウンセラー以外にもいろんなところと連携するという意味合いで、このスクールソーシャルワーカーという事業が立ち上がってきて、これも昔はなかったです。ここは何年ぐらいかな。10年かな。</p>
事務局	<p>もともと大阪府の方からこのソーシャルワーカー派遣をしていただいておりますので、ここ2、3年前から自治体で配置してください。府の方で補助金出しますよというかたちで、例えば、保護者の会社が倒産してしまって急に苦しくなった。それに伴って、子どもが学校へ来なくなったというところで、いろんなところで福祉につないでいくとか、そういったかたちで、今現在は、社会福祉士の方がソーシャルワーカーやっております。</p>
教育長	<p>これも以前は府でした。最近では町費も含めて、そういう意味では進歩してきていると思います。他ございますか。</p>
委員	<p>教育支援センター事業って書いてくださった、スクールソーシャルワーカーの上の部分。今は、一つ場所があるということですね。</p>
事務局	<p>そのとおりです。</p>
委員	<p>それを残したまま、職員の方が直接出向くということもプラスするという感じですか。</p>
事務局	<p>そうですね。毎月、校長会があるのですが、学校の方からも意見があって、1回、学校には来れているけども、実質教室に入っていない子どもさんもいらっしゃるのですよね。</p> <p>不登校にはならないのですが、実質としては、それに近い子どもさんもいらっしゃるのです。そういったところに働きかけを、できるかどうか分かりませんが、来年度は出張型で試行的にしたらいいかないと考えております。</p>
委員	<p>分かりました。ありがとうございます。</p>
教育長	<p>不登校対策も大きな事業の一つと思っています。他よろしいですか。</p> <p>事業費のところで高額なのは、箱物が多いし、そういったものは当然経年劣</p>

	<p>化もしますし、そこを計画的に補修していく、改修していくという意味合いで、上がってきている部分があります。</p> <p>さっき冒頭で、少子化対策で国の方も言っているのと一緒に、特に河南町は、財政の中ですごいウェイトかけながら、無償化の問題であるとか、支援の問題であるとか、これは一定の評価しながらも、さらなる支援策がないのかとか話し合っていければ。それがすぐ反映できるかどうかわからない。</p> <p>だから、月例会でいろんな気づきがあればそれ出させていただくと、予算要求のために定例会開くことはなかなかできないのですが、事務局の方でも可能な限り反映をさせていただきながら進めてまいります。</p>
委員	<p>こども1ばん課の予算の執行額が極めて高額な、2億4,300万円。石川こども園の運営費。</p> <p>この事業内容として石川こども園の運営に関する助成(施設型給付)、施設管理経費の負担ということは、これは石川こども園の建物、例えば、老朽した部分の復旧費的なものって考えていいですか。</p>
事務局	<p>今の分も、今年度の予算に対してというのは施設型給付費、ほぼ今、お子さんの人数に対して、公定価格が0歳児だったら幾ら、1歳児なら幾らみたいな基準が決まっております、保育士さんの配置とか、いろいろクラスの配置とか、すごい細かくいろいろ決まっている配置基準がありまして、子どもさんの入園している人数に合わせて、お支払いするというのが施設型給付費というものです。</p>
委員	<p>わかりました。</p>
事務局	<p>施設の維持管理は、普段はいろいろ給付費で払っているところなのですが、例えば、大きな改修となれば、そこは計画を立てて、また補助金に合わせた負担をしてというふうなかたちで負担も出てくるのですが、今、基本的にはその運営していくための人件費とか、そういうようなものに対して使っております。</p>
委員	<p>その基準は、国が定める標準に従ってやっているということですね。</p>
事務局	<p>そうですね。</p> <p>そこに必要な加配なり、支援のお子さんいらっしゃったら、それに追加させていただいています。</p>
委員	<p>わかりました。</p>
教育長	<p>こども園の運営は府ではないので、各自治体でやっているわけなので、それ</p>

	だけの運営費がかかってきます。
事務局	今の施設については、もともと町の施設に石川こども園が入っていましたけども、石川こども園の方にもうお渡ししていますので、実際、所有物は石川こども園の方にあります。町から渡したかたちになります。
教育長	他どうですか。 給食の無償化の方もね、事業費は大体見といていただいたら、これだけのことをやっているということをね、我々も共有しとくことは大事かなと思います。
委員	この教育課の小学校6年生の少人数学級事業のお金の部分ですけども、これ僕すばらしいなと。町の方で負担して、要は人件費ですね。
教育長	そうですね。 また、人事の時期が来て、また府の方からどれだけ、少しでも、加配をいただけたら、こういうことが、少しでも軽減されていくと思うんですけども。 他の事業によっては単発的に行事として消化していくお金と、こういう事業はずっと1年間継続して子どもたちに関われるというところで、少しでも手厚く対応できたら、本当に教育も充実するのと違うかなと感じますので、しっかり財政当局にお話していただいてですね、でも充実できるようにしていただけたらいいかなと思います。 単費でつけている重要な部分ではあります。 たださっきの中にもありましたように、自治体財政力云々によってという部分もあるので、片や、今どんどん追いついてきて、来年は4年生で、再来年が5年。 だから、あと2年すれば、このうちのこの分については、府の対応でまかなえるということになります。 そうなってきたら、まだ中学校の方はまだまだ計画ないので、そのへんあたりどうしていくかとか、それは状況によって考えていくべきだと思います。 あと、生涯まなぶ課の方もコロナの影響受けて、なかなか海外派遣というところまでいけてないんですけど、できることはやっていきたいと。グローバル化というのは大事な部分であると思っております。 では次に、「(2) 学校園における新型コロナウイルス感染症対策マニュアルについて」の説明をお願いします。
事務局	「(2) 学校園における新型コロナウイルス感染症対策マニュアルについて」資料に基づき説明
教育長	この件について何かご質問ありますか。 学校行事については、秋、9月の定例会のときでしたか、運動会について、

入場制限云々と、あの時はまだそういうかたちで、一般の方で入場制限なくなってきたというようなご意見もいただきながら、しかし、それぞれの地域の状況であるとかということも踏まえた対応をとっておりまして。今回についても、基本的にはそうだと思うのですが、今、事務局が説明しましたように、保護者については、今回、このような状況の中、いろいろ鑑みて制限はなしと。

ただ、去年もご存知のように、限りがあるので、ただ、もう詰め詰めみたいな感じではなくて、それ以上増えるとなると、感覚は少しずつ減ってくるかもしれません。同じようなだけの間隔は空けられないかもしれないし、あるいは、歌うとなると、子どもたちは、以前のような詰め詰めで演台の前で、並ぶってよりかは、必要最低限の距離感というものは必要だし、そういったことは、もう先ほど申しましたように、対策を続けながら、それがあくまでもコロナだけじゃなくて、いろんな感染予防にも繋がるというか、これからのスタイルという意味合いでは、ちょうど過渡期であり、どんどんいろんなものを踏まえてでき上がりつつあるのかなと思います。

だから、来賓の方についても、今までどおり昔に戻すんじゃないくて、もう申しましたように、その中学校なんか全町になるので、他市では学校数があるから、みんな分散していくわけやけど、河南町では一中しかないの、もうその関係者の方、皆さんってなったら、それはそれでまた、そのへんあたりも、このコロナを踏まえた上で、学校とも相談しながらやっています。

最終、決めるのは学校の判断になってくるので、それは重々、我々の意見も踏まえて判断してくれているように思います。

それでは「(3)次期教育振興基本計画の策定に向けたこれまでの審議経過等及び河南町教育大綱について」について、事務局から説明をお願いします。

事務局

「(3)次期教育振興基本計画の策定に向けたこれまでの審議経過等及び河南町教育大綱について」 資料に基づき説明

教育長

たくさん資料もあるので整理すると、国の方針を受けた府の方針、町の方針という構図の中で、それぞれの何期とか何次とか、ここ近年のその流れがあります。ちょうどその改定期に差しかかっているということです。

町として、まちづくりの計画で、町長も子育て・教育の町ということを前面に押し出されておられますし、その辺も踏まえながら今度の総合教育会議の中で、次期の、河南町のこの教育大綱を作り上げていくということになります。

ただ、もう一から全部意見を吸い取ってというかたちになると、なかなか難しさもあるし、タイムスケジュールもありますので、今日のところはまず、この一連の国の流れ、府の流れ等を、今の現行の部分も含めて、大変ですが、お目通しいただきたいと思います。大体どれぐらいのスケジュールだったかな。

事務局

次回のところで、意見交換、協議をしながら、3月に最終、決定をしていくというかたちになろうかと思っています。

	<p>特に、教育大綱の方で見ていただかなければならないのが、教育大綱4ページ、5ページです。</p> <p>ここが、本来の教育大綱の重要なものになってきます。</p> <p>基本理念から、教育目標、それと教育方針、こういう大きい方向性で、羅針盤になってきますので、こういったところを見直しが必要かなと思います。</p> <p>追加ですけども、国の方お変わってきましたので、学校園教育基本方針を3月にいつも内容をご審議いただいて、決定をさせていただいておりますけども、こういったところの内容が修正・変更になってきます。</p> <p>この内容につきましては、府からもいろいろと資料が来ましたら、また3月の段階でこういうものについては、当委員会の方でご審議いただいて、決定いただくかたちになると思います。</p> <p>今、さしあたっては、特に、教育大綱の4ページ、5ページの内容のところをどうしていくかというかたちで、次回の総合教育会議のところでご意見いただければ、そういったところでお話をいただけたらなと思います。</p> <p>大きな方向性というかたちで、意見をまとめていただけたらありがたいなと思います。</p>
教育長	<p>大きなものを作る時期に、今、差しかかっている、何か根本の、この教育大綱であるとか、その最上位になるものを、我々はしっかりと踏まえていかないといけないし、それをさっきの学校園教育指針というかたちで、学校園にこれを示していきます。学校園はそれを受けて自分とこの教育計画を立てます。教育目標を立てて、それがもっともっと細部の細部になってくると、学年目標になり、学級目標になっていくという。</p> <p>すべて一連の繋がりがあって、河南町としての根本になる部分についてどうであるのか。問われたときに、「うちはこちら」と。少なくともこの委員のメンバーの中ではそれを共有できるような、ふうにまでできればいちばんいいかなと思いますので、もうたくさんありますがまた、お目通しいただきまして、次の、今、言ったよう2月、予定として2月一回、3月一回。町長部局から説明があります。</p> <p>時間がもうタイトではありますが、見ていただいて、ご意見いただければなと思いますので、よろしくお願いします。</p>
事務局	<p>新しい河南町のまちづくり計画を見ていただきたいと思うのですが。第4次のときには、もともとの基本理念が、みどり（緑）、きずな（絆）、つなぐ（継）というかたちで、糸偏つながりでこれを目標にしておりました。</p> <p>新しい2021年からのまちづくり計画につきましては、『あ・な・ば』というかたちで、「あそびがある」「なじみやすい」「はぐくめる」というかたちで、これを基本理念にそれぞれの施策が設けられております。</p> <p>特に、今、教育委員会が、特に関係してくるのが、ホッチキス留めをしております1枚、2枚、3枚目を見ていただいたところで、施策の体制というのが</p>

	<p>あります。</p> <p>その中でいきますと、～政策 No. 2～子育てと教育のまち。それと、～政策 No. 3～みんなが生涯活躍できるまち。それと、飛んで5つ目、～政策 No. 5 自然と歴史に囲まれたまち～。これは大きなところの分かと思います。</p> <p>教育大綱は、こういったところと、国、府の計画と合わせもった中で、最終的に決定するかたちになりますので、これも踏まえて整理の方をお願いしたいと思います。</p>
教育長	<p>11月にタウンミーティングを各地区でやったのですが、その時、町長からもこの説明がありましたので、お知り合いの中でまたそこへタウンミーティング参加された方もおられたりしたら、こういうふうに通ってもいいのかなと思っています。</p> <p>そうしましたら、「(4) 令和4年度小中学校におけるいじめの状況調査等(4月～12月)について」説明をお願いします。</p>
事務局	<p>「(4) 令和4年度小中学校におけるいじめの状況調査等(4月～12月)について」 資料に基づき説明</p>
教育長	<p>これについて何か、ご質問とかありますか。</p> <p>河南町で、去年と比べて大きく変化はない。大体、例年通りぐらいの数ですか。</p>
事務局	<p>そうですね。</p> <p>経年比較するというよりも、今回、子どもたちが訴えたことにどう耳を傾けていくかということがあると思います。</p> <p>そういう風にご理解いただけたらと思います。</p>
教育長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは次の「(5) 二十歳の集いの開催結果について」。</p> <p>先日、本当にこのご出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>その件についてお願いします。</p>
事務局	<p>「(5) 二十歳の集いの開催結果について」 資料に基づき説明</p>
教育長	<p>この件について、よろしいでしょうか。</p> <p>では、「(6) 令和4年12月議会 一般質問の要旨について」説明をお願いします。</p>
事務局	<p>「(6) 令和4年12月議会 一般質問の要旨について」</p>

	資料に基づき説明
教育長	この件について何かご質問等。よろしいですか。
委員	<p>佐々木議員の質問の中で、子育て・教育部門で、子どもの通学のかばんが重いと、私も思います。</p> <p>実際、提げてみました。フルカリキュラムの時に提げてみて測ってみたんですけど、実際びっくりしました。4キロありました。4キロある上に、放課後の学習を受けているので、そのための教材を片手に持って、首から水筒ぶら提げています。</p> <p>僕も趣味で山登り、トレッキングしていますけども、その日の食料と雨具を入れて、救急措置の非常の場合のものを入れてやると、大体5キロですよ。僕も体重60キロありますけど、5キロのものをリュックサックに背負って、やはりしんどくはないのだけど相当負担感あります。</p> <p>だから、一つの提案は、体力的にまだ弱い、体もできてない、体重もそれこそ、2年生でどうでしょう、30キロとか35キロぐらいの子だったら、相当ダメージが大きいので、何もランドセルを背負わなくても、他の都道府県で一つの手、ここでやっているのは、ゴロゴロ、二輪タイヤがついているところにリュックサックをぽんと放り込んで引っ張っていつているのですよ。それを子どもが自ら開発したらしいのです。</p> <p>それをかばんメーカーの社長が、いいアイデアということで、今、その商品が出回っているらしいのですよ。重たい子には引っ張っていいと。当然、学校の許可は得ないとそれを提げていけませんけども。</p> <p>それを、ぜひ河南町、考えてほしいと思います。他の委員さん、意見があれば聞きたいなと思います。</p>
教育長	いかがですか。
委員	中学生はもっと重たいです。
委員	<p>現在は置いとくのは許可してくれています。昔はそういうのダメだったから、そういうことの配慮があるのかなと思いつつ、テスト前とかはきつそうですね。</p> <p>課題するために持って帰ってきたいってなると、しんどそうだなというのは感じます。</p>
委員	<p>この前、かなん桜小学校に寄せていただいたときに、窓際に上手に分類して子どもたちの資料とか置くように工夫されていたので、ああいうものでも、かなり、持って帰ったりするの必要な分だけはもう、それこそさっき、置き勉強ですかね。それも活用しておられるなあということで。</p> <p>そういうことしか手がないですかね。</p>

<p>教育長</p>	<p>そうですね、おそらく、今、小学校も中学校も言っていた中で、実際の重さというのものもあるし、そやから、当然、以前に比べたら大分学校置きは増えています。</p> <p>特に、学期始めとか終わりとか、それ以外、日常以外のものについても、できるだけ先生は小分けして持って帰りなさい、持ってきなさいみたいなこともやっている。</p> <p>だけでも、例えば、学期の初めの当初の部分とは重たいとか、あるいは、中学校は試験前の時はどうしても、いつもよりは重たくなるとか、個人によっても。いや、学校に置いときと言っても、自分で勉強したいからって持って帰る子も当然おるだろうし。出てきた一定の中で、そこへ持ってきて今、ノート型PCが出てきているから。</p> <p>さらに、それがプラスαになるのか、いやいやノート型PCに本来持って帰らなあかん部分がデータとして入っていたら、軽量化されるんじゃないんかとかというようなご意見もいただいたので、当然、それは今、今、出てきてたように過渡期でもあるので、そうなっていけば、結果的には軽量化にも繋がっていくこともあるだろうな、ということでのやりとりやったのですけど。</p> <p>だから、そのゴロゴロというのも商品化されてるという意見も出てき始めたら、大きくなってくるかもしれない。</p> <p>ただ、その地域、地域の状況があるので、ずっと、こう転がせるようなコンクリートの道ばかりやったらいいけど、そうでもない階段が多かったりとか、いろんな部分があったりという場合はどうなのかとか。一つの案としては、当然、それはあるだろうし、もっと他にも、考えていくことも大事なのかなというふうには思います。</p>
<p>委員</p>	<p>そうです。そもそも、皮のランドセル自体が重量あります。他府県では皮じゃなくなってきました。</p>
<p>教育長</p>	<p>河南町もみな軽量化です。</p>
<p>事務局</p>	<p>ランドセル型リュックになっているので。もう通常の世間でいうランドセルは、重たいのでやってないのですよ。</p>
<p>教育長</p>	<p>だから、転校生とは別ですよ。</p> <p>他所の学校でランドセル、皮のやつ買って来た子は、そのまま使っている子もいます。もう、この意見は、学校いろいろやっていたとしても、出てくるのですよ。</p> <p>だから実態は、実態として、それはそういう実態があるのだから、さらなる策は検討していくべきかなと思います。</p>

委員	話が、議題が前にずれてしまうのですが、いじめと不登校の調査の分の資料4の部分の2枚目で、小学校の1年生に1人全欠の方がいると思うのですが、この全欠というのは、もう学校がある日、1日も来てないということですか。
事務局	そうです。
委員	その子は、普段はどこに居るとか、何をしているとか、そのへんのことというのは、町としては把握できているのですか。
事務局	できています。 引き続き、学校が、点検に、どうかということと、どんな学びをしているのかということも、確認をしてもらっているところで、なかなか個別の事情なので、どこまで今、お話しをするべきかなのかということなのですが、心配されている部分については、安全確認、かつ、どうした学びをしているかの確認は、定期的にこの学校は確認しているというかたちです。
委員	この中で、例えば、学校以外と家庭以外に社会との接点が全然ない子がどれぐらいおられますか。
事務局	他の子はフリースクール行っておられます。だから、そこら辺の分が、いわゆる本来の教育課程に見合うものであれば出席になるのですが、そういったところで、不登校という扱いになってしまうので。一応そこは、学校は確認しています。 結構、フリースクール、いわゆる本来は、日本はもう義務教育なので、学校へ来てもらう。その子どもがなかなか来れないことであれば、本町の教育支援センター。ここもしんどいとなれば、そういう民間のフリースクールということになる。
委員	出席認定してもらえるフリースクールもあるのかなと思うのですが、そういうところじゃないってことなのですか。
事務局	そういうことですね。
委員	わかりました。 例えば、家庭にも完全に引きこもってしまっている児童が何人いるとか、そういうことは、河南町では今ない感じですか。
事務局	学年が大きく上がれば、上がるほどそういう可能性が出てきます。 すべて学校の方で把握をしております。

教育長	<p>様々なフリースクール、でも、いろんな名前の。</p> <p>でも、その学校と家庭だけではない居場所というのが今は、だいぶ認知もされてきているし、そこと、子どものためにだから、保護者、学校も含めて連携とれることがいちばん大事だし、その連携については、各学校の積極的にはやらせていただいています。</p> <p>だから、本当に、どこも行っていないとか、全く引きこもってしまっているという子も、少なからず可能性として、今後でも、それが出てくる可能性があるもので、そこは注視しながら、出てきた場合にはどういう支援を、常に考えていかなければいけないなと思います。</p>
委員	<p>そのへんの調整とか相談とかというのが、スクールソーシャルワーカーの先生の仕事なのかなと思っていたのですが、そのへんの理解はそれで合っていますか。</p>
事務局	<p>スクールソーシャルワーカーの他には、スクールカウンセラーがいます。</p>
委員	<p>分かりました。</p>
教育長	<p>では、たくさんありましたが、最後になります、その他、何かありますか。</p>
事務局	<p>そしたら、私の方2点、報告させていただきます。</p> <p>まず1つ目が、教育長の最初の挨拶の中で、インフルエンザとコロナの話ありましたけれども、一応、本日、かなん桜小学校1年生で1つのクラスが学級閉鎖、明日から3日間。さっき閉鎖になっております。</p> <p>中学校の方も、今日は早帰りをさせて、明日、明後日の2日間。いわゆる学級閉鎖、これも1年生になります。</p> <p>結構、インフルエンザがどんどん猛威をふるっているかたちで、他市ではもう非常に小児科がすごく混乱をしているようなところも、情報は聞いております。</p> <p>それと、机の上に置かせていただきました朝日新聞の昨日の新聞の朝刊のコピーです。</p> <p>これ藤井寺市の方で、教科書採択で元校長が収賄ということですが、その中で特別調査委員会の中でも、教育委員が会社の接待を受けてるということで、非常に大きな問題になっております。</p> <p>今一度、私の方から失礼ですが、委員さんの方にもご注意いただきまして、特に今年、次年度に入りました教科書採択の作業に入りますので、こういったこと以外も含めて、再度、注意の方よろしくお願ひしたいと思います。</p>
教育長	<p>事務局からあった話について、当然、そんなことは河南町ではないと思いな</p>

	<p>がら、他市町村で起きたときには、まだ、これだけの問題じゃなくて、我々公務員ということについては、日頃からそこをフィードバックしながら、意識はしていかないといけないと改めて思うような事案だったかなと思います。</p>
委員	<p>かなり衝撃でしたね。</p>
教育長	<p>そうですね。 期間中の採択替えって、初めての例ですから。ものすごい重たいことだと思いますし、あってはならないことだと思います。</p>
委員	<p>だから、採択員なんかは、教科書会社に親族で勤めているとか、そんなんがあれば、もう一切関わることができなかつたりとか、いろいろルールが細かい部分があるのですけど。</p>
教育長	<p>他どうですか。</p>
委員	<p>学校訪問を、3回やらしていただいて、見せていただいて、河南中学校と、それから、近つ小学校を英語で、教育大学の先生が来ていただいて、私は非常によかったなあと思いました。 いちばん良かったのは、中学校の英語の先生が、それぞれ小学校に行かれて、英語の活動、英語教育をやっていただいているというのは、他所でやっているかどうか、僕もよくわからなかったのですけども、非常に良かったなと思っています。 特に、大学の先生に見ていただいたら、現場の先生は、どっちかいうと実践者で研究者じゃないので、大学の先生は、研究しておられるので、大学の先生にコメントをいただいたりしたら。 例えば、近つ飛鳥小学校の英語教育が、良い方向に進んでいるというのが確認できる非常に良い場になるので、これから積極的にああいう研究しておられる方を学校に招聘して、自分たちの実践を見ていただいて、ある程度評価していただいたら、すごい学校の励みになるし、指導された先生も、とても良い勉強になったのではないかと。2校についてはそういうふうに思いました。 この前かなん桜小学校に寄せていただいて、素晴らしい先生で、久しぶりに、すばらしい先生の授業を見ていただいたなあとあるので、後の反省会でも、かなり評価もさせていただいたのですけども。 先生のすごいのは、特に、低学年の指導の凄さって、ずば抜けています。本当にエキスパートのような感じをしました。 先生の力はすごいなあとというの、感じて子どもたち、本当に生き生き、いい授業されていたなあとということ。 もう一つ、この2月の広報かなんに、この人権啓発の作品でとったのです。私は毎回見るのですけども、見たときに、かなん桜小学校の5年生1組と2組</p>

	<p>が出ていて、出ていたのです。多分、ほとんど全員出ていたと思うのですが、これ見てたらね。</p> <p>特に、5年生2組の、内容がものすごく、僕、感動したのです。もちろん1組もええのですけど。</p> <p>これは、先生がこの人権に関わって、その標語を書くときに指導されているなというのを、強く感じたのです。</p> <p>幅広く、子どもたちが、書いているのがすごく印象的だったです。</p> <p>だから、さっきの先生の話じゃないけども、担任の先生が、子どもたちに向かって、本当に一つのことに向かって、きちっと指導されたら、ほんまにいいクラスができるなあというのは。</p> <p>別に褒めていただく必要はないのですけども、そういうふう感じたということ伝えていただけたら。</p>
教育長	<p>ありがとうございます。</p>
委員	<p>私は、素晴らしい先生がおられるなというの、感じたので報告します。</p>
教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>他、よろしいですか。</p> <p>時間も、今日、本当に研修からだとはほぼ4時間になって、本当にお疲れ様でした。今日、これでよろしいですね。</p> <p>本日の議事日程はすべて議了いたしました。</p> <p>これをもちまして1月の教育委員会定例会を閉会いたします。</p> <p>次回、令和5年2月21日午後3時15分からの開催といたしますので、よろしく申し上げます。ありがとうございました。</p>

令和 年 月 日

教育長名

署名委員名